

【歳入における個人市民税の見込みと固定資産税の減少要因】25年度以降の所得割の人数は約3%減となり、課税標準額も2・4%減となる見込みである。また、土地については評価替えにより、全体で19・7%下落している。家屋についても新築住宅件数が少ないこと及び経年による評価額の下落が要因である。

【職員数削減が進む中で定員適正化計画の見直しの必要性】指定管理者制度の導入等を進めていくことで、定員適正化計画に対応していくが、今後の業務状況等により、柔軟に対応する必要がある。

【市民まちづくり支援事業の方向性】地域の課題解決を図るためのコミュニケーション・ビジネスの立ち上げに対する支援を初め、地域資源を活用した市民参画型のイベント等の支援など市民活動支援センターと連携して取り組むたい。

【平成23年度豪雨農業用施設等復旧支援事業による今年の農作業への影響】本事業の補助対象となる工事は24年3月末を工期としており、農作業に影響はないものと考えている。

【地域の公共交通整備についての将来的な見直し】本市では平成22年度に能代市公共交通戦略を策定した。同計画では21年度時点での生活バス路線を維持することを基本としながら、公共交通空白地帯等への取り組みを進めていくことにしており、今後は乗り合いタクシーや高齢者が対象となる元気・交流200円バス事業など、さまざまな地域の状況に対応した取り組みを進めていくたい。

【新設等を行う企業への優遇措置の内容】投下固定資産総額や雇用人数に限り、一定要件を満たした製造業等の企業に対し用地取得助成金、雇用奨励金及び土地建物賃借料助成金等の助成制度があるほか、固定資産税が5年間免除される。

【未来農業のフロンティア育成研修費補助金の概要】本事業は、県の農業試験場等で研修を受ける新規就農予定者に対し助成を行うもので、23年度までは県の補助金を含め、助成額を月額7万5000円としていたが、24年度からは10万円に拡充している。（六山）

【国民健康保険の保険給付費の見直し】療養給付費は、1人当たりの医療費の伸び率が23年度後半から鈍化していることから24年度は23年度見込み1%増と見込んでいます。

【介護保険事業の中での介護予防の取り組み】現在、能代ふれあいプラザでゆうあい健康教室を3カ月単位で実施しているが、地域の高齢者がなかなか来られなかったことから、今後は地域センター等での実施も検討している。すこやか健康教室については費用面を見定めた上で、取り入れたい。

【防災教育の概要】地震や津波などの災害からみずからの命を守ることで、児童生徒を育成するもので、学校の防災意識を高めることを期待する。（針金）

【除排雪対策費の予算措置を柔軟に】除雪は、出動基準等を定めた計画に基づいて行い、予算は過去の実績で計上し、不足が生じた場合は補正予算で対応している。今冬を教訓に今後、地域や路線ごとに細かい計画を立てたい。

【除雪に不満を持つ住民との住民説明会】説明会は18年豪雪後に1度開催したのみである。説明会は、住民の声を聞き、また市からの説明やお願いをするよい機会であり、今後は行いたい。

【高齢者用健康遊具設置工事の概要】工事は国の地域介護・福祉空間整備推進交付金を活用して、平成24年度から行う。24年度は、各自治会から希望をとった結果、最も高齢者の多い大瀬街区公園を予定している。遊具は、他で設置事例の多い4種類の遊具を想定しているが、さまざまな種類があるため、自治会と相談して決定したい。

【記念植樹した樹木の育樹】植樹については適当な場所が見つかれば植樹していただいている、樹木を育てる育樹をお願いすることについては、今後検討したい。（信太）

委員会審査報告



建設委員会

【除排雪対策費の予算措置を柔軟に】除雪は、出動基準等を定めた計画に基づいて行い、予算は過去の実績で計上し、不足が生じた場合は補正予算で対応している。今冬を教訓に今後、地域や路線ごとに細かい計画を立てたい。

【除雪に不満を持つ住民との住民説明会】説明会は18年豪雪後に1度開催したのみである。説明会は、住民の声を聞き、また市からの説明やお願いをするよい機会であり、今後は行いたい。

【高齢者用健康遊具設置工事の概要】工事は国の地域介護・福祉空間整備推進交付金を活用して、平成24年度から行う。24年度は、各自治会から希望をとった結果、最も高齢者の多い大瀬街区公園を予定している。遊具は、他で設置事例の多い4種類の遊具を想定しているが、さまざまな種類があるため、自治会と相談して決定したい。

【記念植樹した樹木の育樹】植樹については適当な場所が見つかれば植樹していただいている、樹木を育てる育樹をお願いすることについては、今後検討したい。（信太）